

【6】 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組

(1) 習熟度別コース制による実習指導

2年次においては、習熟度別コース制による実習指導を行う。

具体的には、「Advanceコース」「Standardコース」「Basicコース」の3コースを設け、自分の課題や状況に応じて、2年次進級時に学生自身が3つのコースから選択を行う。

これにより充実・発展した内容をそれぞれのステップに応じて学習することで、保育者としての資質の全体のレベルアップを図る。

(2) 「音楽検定」の実施

本学では、通常の授業とは別に「ピアノ」と「弾き歌い」に関して「音楽検定」の制度を設けている。検定の曲目は「ピアノ」が1～10、「弾き歌い」が1～22のレベルに分かれており、在学中により多くのレベルを受検し自己研鑽に励むことができるように、年間を通して検定を実施している。特に1年生に対しては、全員が「音楽検定」を受け、合格することを義務づけている。卒業時には「ピアノ」、「弾き歌い」それぞれの高レベル到達者を表彰し、モチベーションの向上を図る取り組みも行っている。

(3) 「絵本の部屋」の設置

幼児教育・保育を専門とする本学の学生においては、絵本を使った学習や実習準備が必須である。本学では、短大生が主として利用するキッズスクウェアに「絵本の部屋」を設置し、学生が多くの絵本に触れ、また絵本を使った保育をイメージしやすい環境を提供している。「絵本の部屋」の開室時間は月曜日から金曜日の8時～18時で、授業の前後にも利用できるようになっている。

絵本のほか、紙芝居や大型絵本、仕掛け絵本などを含め、和書が2,501冊、洋書が337冊の蔵書がある。学生は開室時間内に自由に出入りし絵本を選び、幼児用の椅子やテーブルのあるスペースで読み聞かせの練習などをすることができる。借りたい絵本については、事務局に申請し許可を得るルールになっており、1回につき5冊まで2週間借りることができる。また、実習中については、実習期間中の貸出が可能であり、有効に利用されている。

(4) 「幼稚園・保育園における人材ニーズ調査」の実施

保育の現場が求める人材について、新卒採用の際に重要視する項目等のアンケートや、本学卒業生についての満足度調査等を定期的に行い、その結果を学生指導やカリキュラム内容に反映させ、教育内容の質の向上を図る手段としている。

(5) 「iPad を活用した学び」の実施

2021 年度新入生より、学生全員が iPad を保有し日々の授業で活用する新しい学びを開始し、ICT 化の進む幼児教育・保育の現場に対応できるスキルを備えた人材の育成を行っている。

授業の内容に応じて様々な iPad の活用方法があるが、1 年生前期の「情報機器の操作」で写真の編集、ファイル管理の仕方なども学び、例えば「保育内容・環境」では、学内の自然環境を iPad で撮影し、写真を加工して授業内で共有するなどの授業を行なっている。